Janis
ValueClean 床排水仕様 施工説明書
バリュー　クリン

FP293-1 10.11

施工される前に

●この施工説明書をよく読み、正しく施工してください。
●便器の使用水圧範囲は、最低必要水圧:0.05MPa（流動圧）から最高使用水圧:0.75MPa（静水圧）です。給水圧力が0.75MPaを越える場合は、市販の減圧弁で0.2〜0.3MPa程度に減圧してください。
温水洗浄便座は機種により、最低必要水圧が異なる場合がありますので、使用条件をご確認ください。
●便器の洗浄水量は、自治体により行政上の立場から設置条件が決められている場合があります。その場合は所轄官庁の指示に従って設置してください。

施工された後に

●不具合確認のため、必ず試運転を行ってください。
●本施工説明書と取扱説明書は、お客様にお渡しください。お渡しするときは、使用方法をご説明ください。

安全のために守ってください

●ここでは施工に際して守って頂かないと、人身事故や家財の損害に結び付く注意事項を挙げています。
施工前にこの項目をよくお読みいただき、正しく施工してください。

用語および記号の説明

警告 ･･･「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」

注意 ･･･「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

⚠ ･･･「注意しなさい!」（上記の『警告』、『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）

⃠ ･･･「してはいけません!」（一般的な禁止記号です。）

❗ ･･･「指示通りにしなさい!」（一般的な行動指示記号です。）

⚠ 警　告

⃠ 修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理･改造は行わないでください。
※故障や感電、火災を起こす恐れがあります。

⚠ 注　意

⃠ バスルーム等の水のかかる所や湿気の多い場所では、使用しないでください。
※故障や感電を起こす恐れがあります。

⃠ 交流100V以外では使用しないでください。
※故障や感電を起こす恐れがあります。

⃠ 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、束ねたり、重いものを載せたりしないでください。
※コードが破損し、火災や感電を起こす恐れがあります。

❗ 陶器は割れものです。破損や割れがないことを確かめてください。
※ケガや漏水を起こす恐れがあります。

❗ 止水栓の調整と施工後の漏水点検を、必ず行ってください。
※漏水により家財等を濡らす恐れがあります。

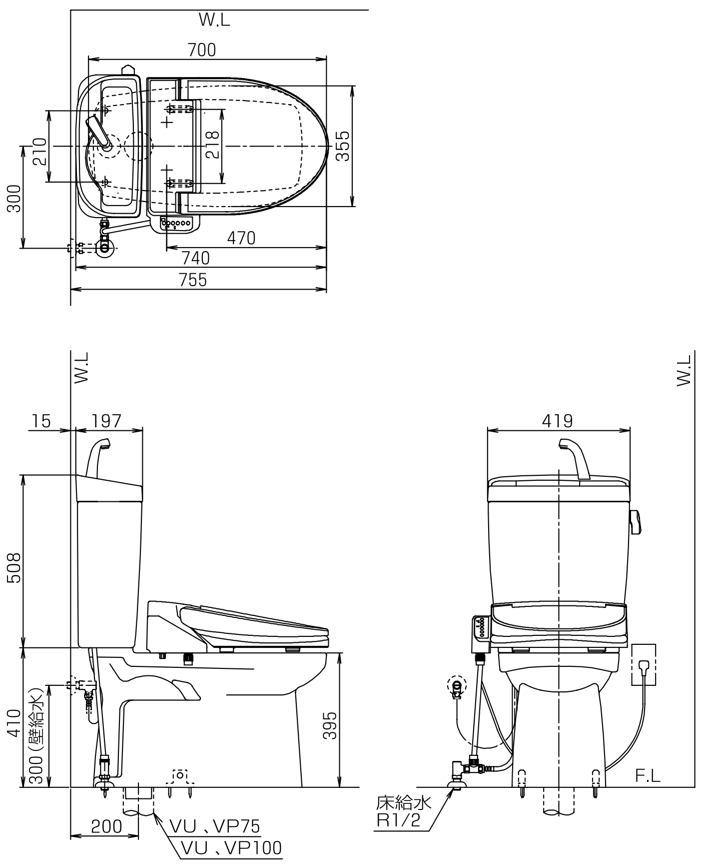
❗ お客様にお渡しする前までに、凍結が予想される場合は、水抜きをしてください。
※破損による漏水で、家財等を濡らす恐れがあります。

お 願 い

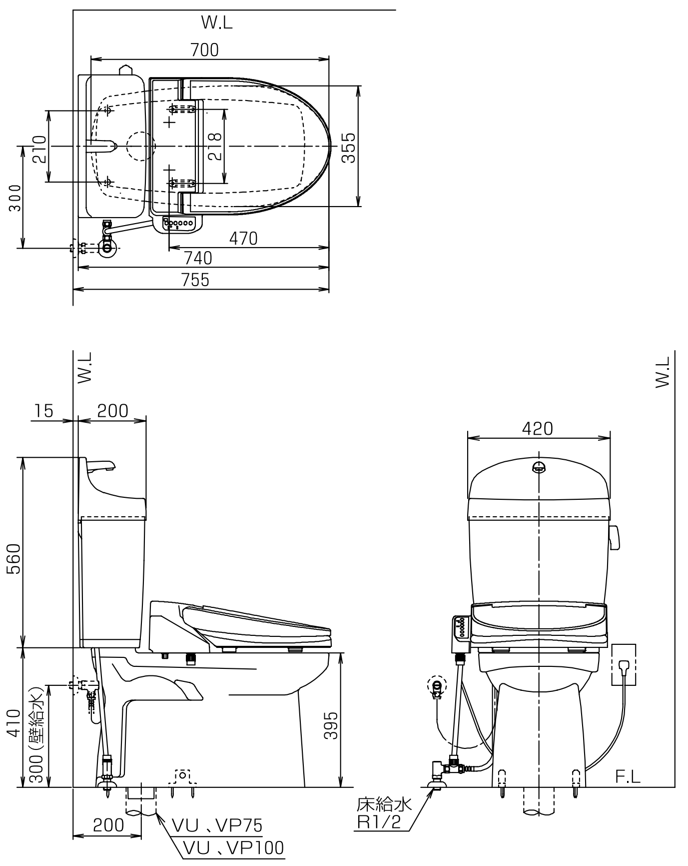
●清掃を行う際には、酸性･アルカリ性および塩素系の洗剤類、ベンジン･シンナー･ラッカー･アルコール等の溶剤や油類を使用しないでください。
※変色や変形の恐れがあります。（溶剤がつきますと跡が残ることがあります。）

施工寸法図

陶器タンク仕様



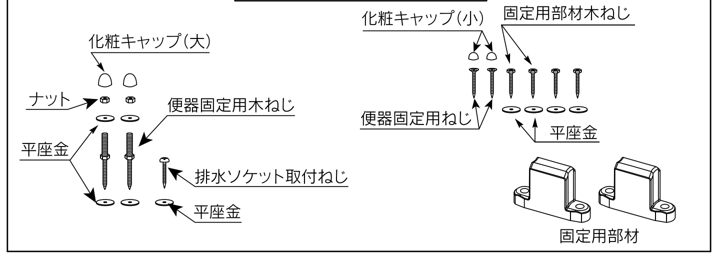
樹脂タンク仕様



部品の確認（梱包内容を確認してください）

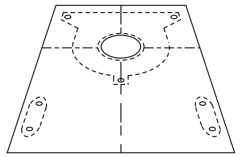
便器セットに同梱

袋入り

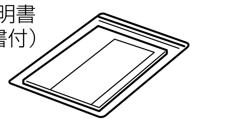


袋入り

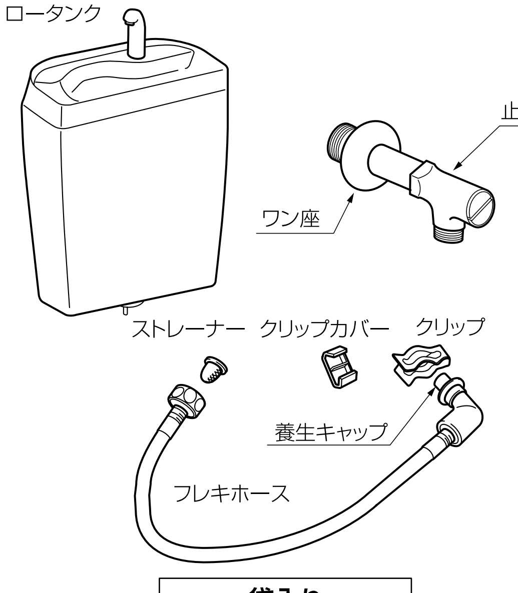
型紙



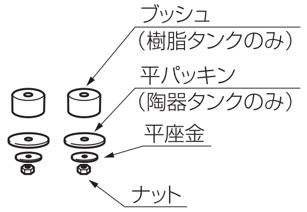
施工説明書、
取扱説明書
（保証書付）



タンクセットに同梱



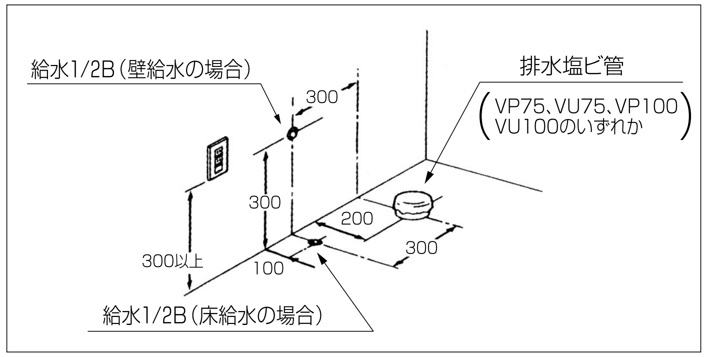
袋入り



施工手順

1 給排水の位置決めと取出し

●下図に従って給水管、排水管を取出します。

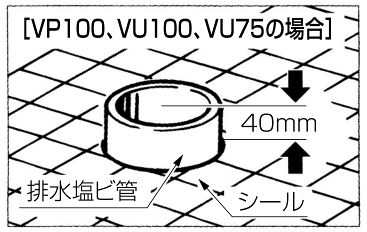


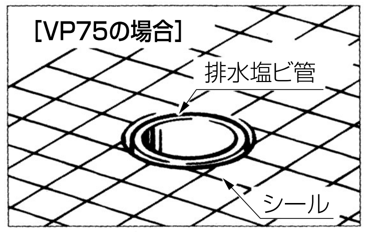
お願い

●便器は取付けるまで、異物が入らないよう、給水管にはプラグを、排水管には、ビニール袋等でカバーをしてください。

2 排水塩ビ管の切断

●壁、床の仕上げ完了後、排水塩ビ管を切断します。
※切断位置はVP75の場合は床仕上げ面で、VU/VP100およびVU75の場合は床仕上げ面より+40mmで切断してください。



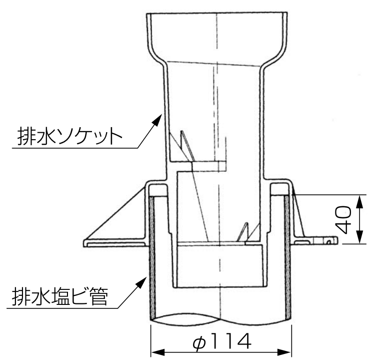


お願い

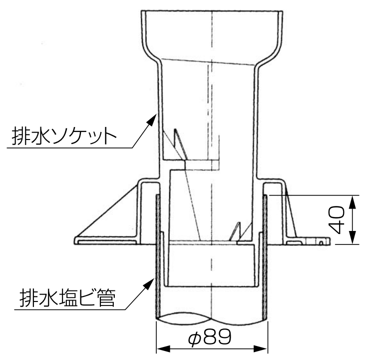
●切断面と床と平行になるように切断してください。
※切断位置が正確でないと、漏水や臭気発生の原因となります。
●床下への漏水防止のため、床と排水管のすき間を、シールしてください。

●排水塩ビ管と排水ソケットの接続は以下のようになります。

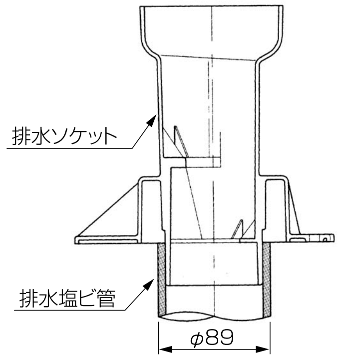
VP100、VU100:塩ビ管外周接着



VU75:塩ビ管内周接着



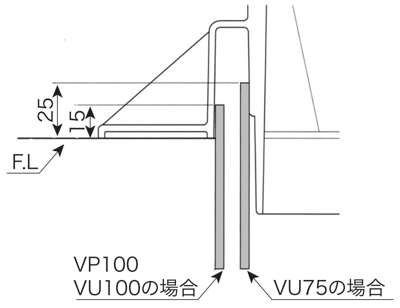
VP75:塩ビ管内周接着



お願い

●排水ソケットを接着する前に排水塩ビ管との勘合具合を確認してください。
※隙間、ガタがある場合は、コーキング剤を使用してシールを接着します。
※はまりにくい場合は、右図の用に塩ビ管取出し高さをカット調整します。
VU75の場合は床仕上面から25mm。VP/VU100の場合は床仕上面から15mmを下限として調整してください。
●接着部は、きれいにしてから作業を行ってください。
●接着には、市販の塩ビ接着剤を使用してください。
●接着は確実に行ってください。
※接着が不十分ですと、漏水や臭気発生の原因になります。

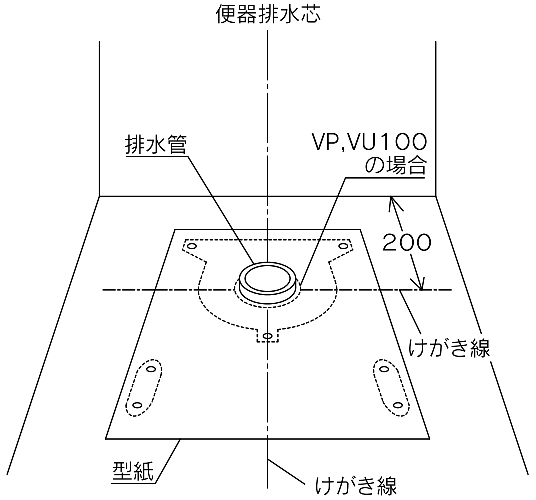
塩ビ管の調整



3 便器フランジ、固定部材の位置決め

1. 便器排水芯の中心線をけがいておいてください。
2. 便器排水芯の中心線に型紙を合わせ、排水ソケット固定位置、固定用部材取付位置をけがいてください。

【ワンポイント】
ねじの下穴をφ4～4.5のキリであけておくと、4での作業がしやすくなります。

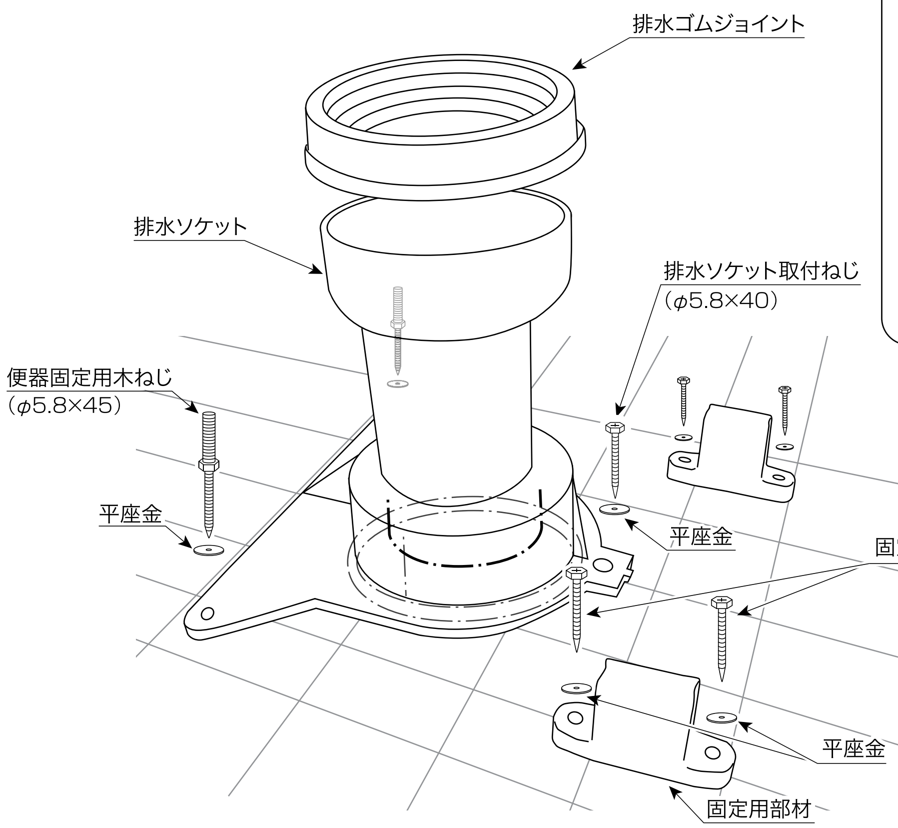


お願い

●VP、VU100の場合、ミシン目より切り抜いてお使いください。
●位置決め後は、型紙を取り除いてください。

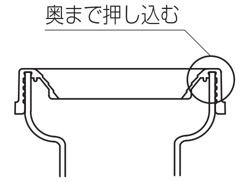
4 排水ソケット・固定部材の取付け

(1) 排水ソケットと排水塩ビ管の接着部をきれいにし、両方に塩ビ管用接着剤を塗って接着します。
●排水ソケットは便器施工芯に対し、平行となるように取付けてください。
●排水ソケットのフランジ部が床面に着くまで、しっかり差し込んでください。
(2) 便器固定用木ねじと取付ねじで排水ソケットを床に固定します。
●床がタイルやコンクリートの場合、市販のPYプラグを使用してください。
(3) 排水ゴムジョイントを、排水ソケットにかぶせ、しっかり押し込みながら取付けします。
(4) 固定用部材を木ねじで固定します。
●床がタイルやコンクリートの場合、市販のPYプラグを使用してください。



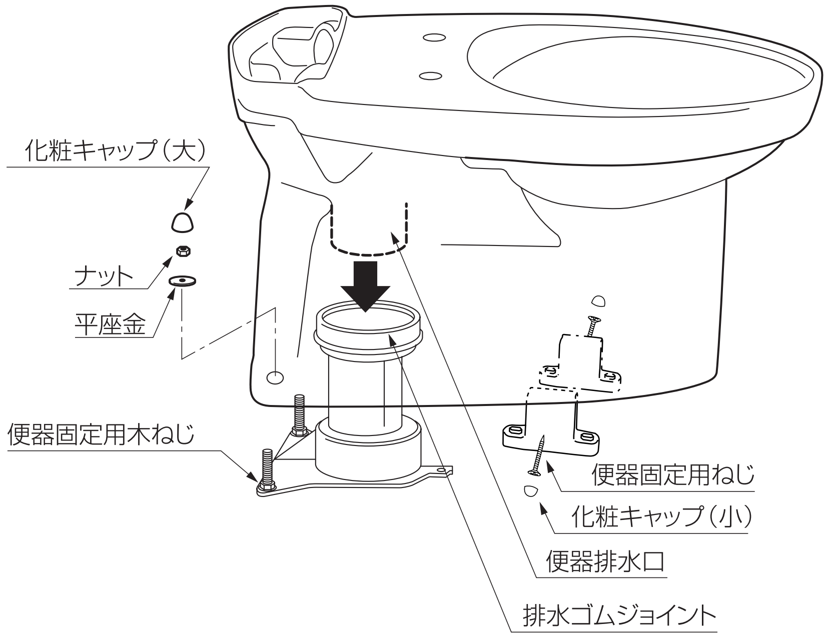
お願い

●排水ゴムジョイントはしっかり奥まで押し込んでください。
※隙間があると洗浄不良や漏水の原因となります。



5 便器の取付け

（1）便器固定用木ねじをガイドにしながら、便器の排水口を排水ゴムジョイントに差込みます。
（2）平座金を介し、ナットで便器を固定します。このとき、便器固定用木ねじが中心になるようにしてください。
（3）固定後、化粧キャップ（大）を取付けます。
（4）側面から固定用部材に向けて、便器固定用ねじで固定します。
（5）固定後、化粧キャップ（小）を取付けします。



お願い

●便器の完全固定は、便器底面と床面のガタおよび施工芯を確認しながら行ってください。
●陶器に対するねじは、締め過ぎないようにしてください。
※陶器が割れる恐れがあります。

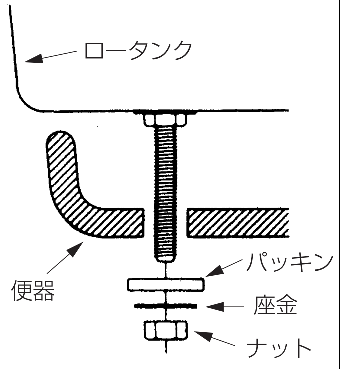
6 ロータンクの取付け（便器に座って作業下さい）

（1）ディストリビュータ（黒ジャバラ）にキャップ（リング）がきちんとはまっていることを確認してください。
（2）密結ボルト2本を便器の穴に両方一度に差込んで水平におろしてください。
（3）便器下方から平パッキン平座金を介してナットで締付けます。

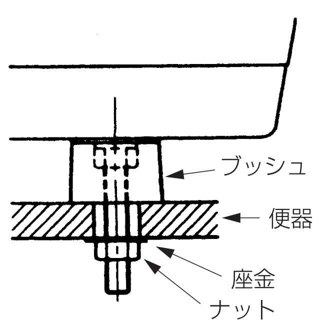
お願い

●ナットの締付けは左右交互に行い、タンクの底面が便器に当るまで締めてください。
※片締めは破損や漏水の原因になります。

（陶器製ロータンクの場合）



（樹脂製ロータンクの場合）

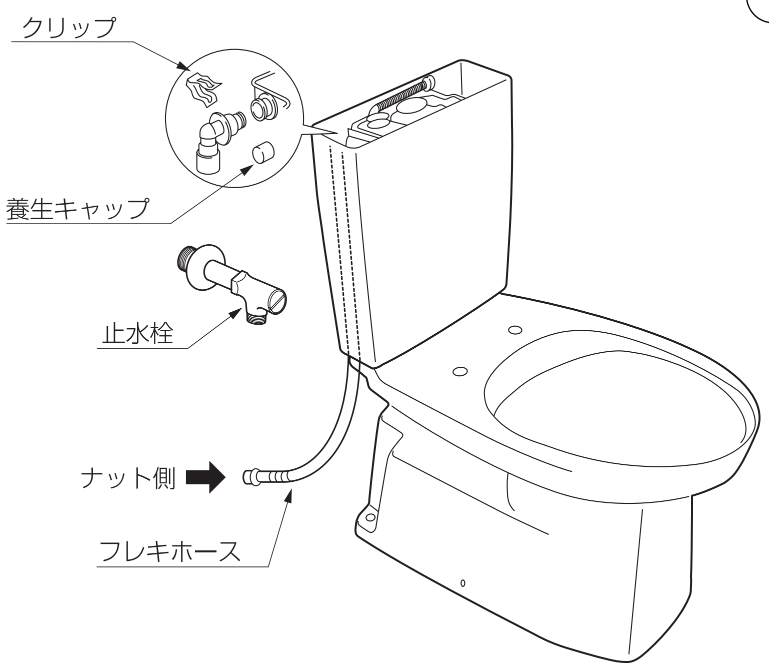


7 フレキホースと給水管の接続

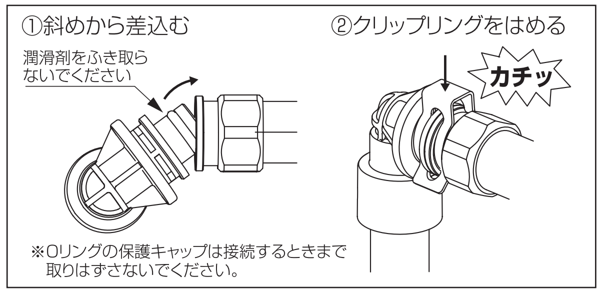
（1）ロータンク内側底面の取出し穴の上方から、フレキホース（ナット側）を通します。
（2）ボールタップ接続側の養生キャップを外し、ボールタップに差込みます。
（3）付属のクリップでフレキホースとボールタップを固定します。
【ワンポイント】
クリップカバーの差込口が上方になるようにしておくと、クリップカバーが差込み易くなります。
（4）クリップにクリップカバーを差込みます。
（5）給水管取出し口に止水栓を取付けます。
（6）パッキンを介して、止水栓に分岐金具を接続します。（温水洗浄便座の場合）
（7）ロータンクから取出したフレキホースをストレーナーを介して、止水栓または分岐金具に接続します。

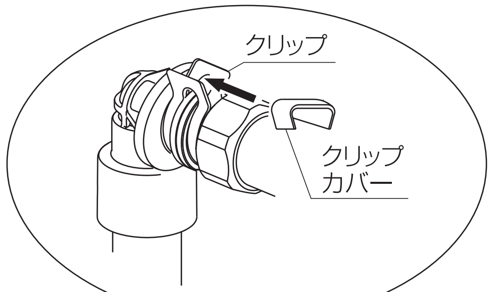
お願い

●フレキホースをボールタップへ差込む時に、Oリングを傷めないようにしてください。
※傷めると漏水の原因になります。
●クリップ、クリップカバー、ストレーナーは紛失しないようにしてください。
●クリップが正しく付いたかを確認するため、クリップカバーは必ず取付けてください。
●止水栓のネジ部には、シールテープ等を巻いて取付けしてください。
●ストレーナーは必ず取付けてください。
※異物が入りますと、作動不良や故障の原因になります。
●フレキホースのナットは締め過ぎないようにしてください。
※破損して漏水の原因になります。



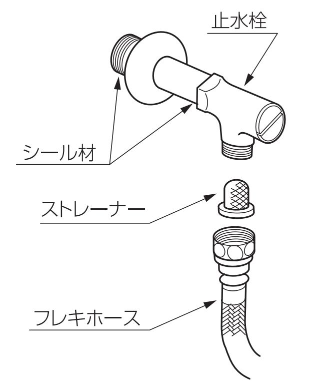
フレキホース接続時の注意



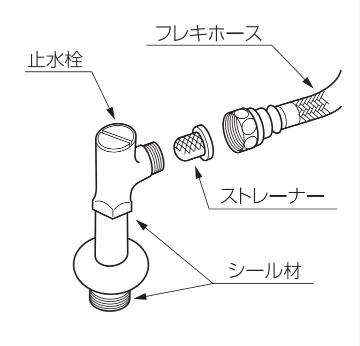


（普通便座・暖房便座仕様の場合）

壁給水

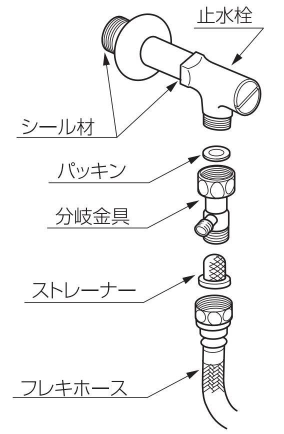


床給水

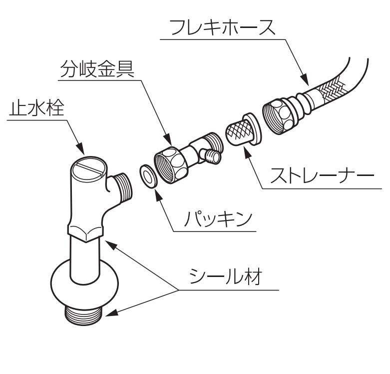


（温水洗浄便座仕様の場合）

壁給水



床給水



8 調整

【流水量の調整】

●万一、ボールタップが止水しない場合でもタンクから水があふれないようにするために、次の要領で必ず調整してください。

(1) 止水栓を閉じます。

(2) インナータンクカバーを外します。

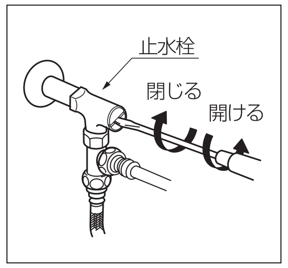
※インナータンクカバーはコーナーを持ち上げ気味に外します。このとき、カバーの抜き窓を利用して接続ホースを通しながら着脱してください。

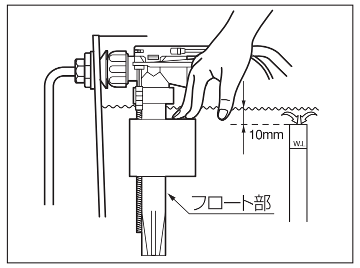
※接続ホースは外さないでください。

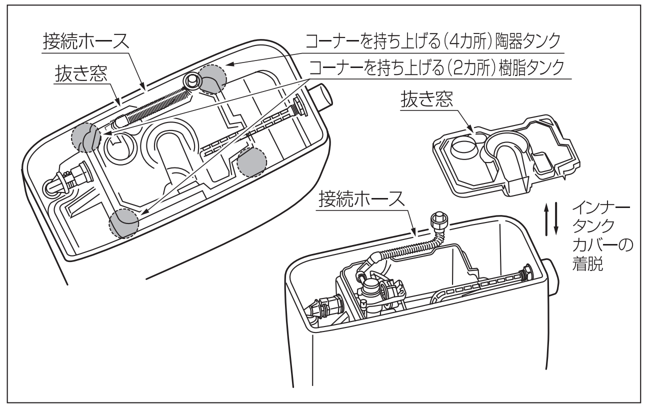
※手洗付の場合、接続ホースをタンク内に入れて水が飛ばないようにしておいてください。

(3) ボールタップのフロート部を押し下げながら、止水栓をゆっくり開きます。
この状態から

(4) 水面がオーバーフロー管上端より10mm以上にならない程度に止水栓の開きを調整します。







【水位の調整】

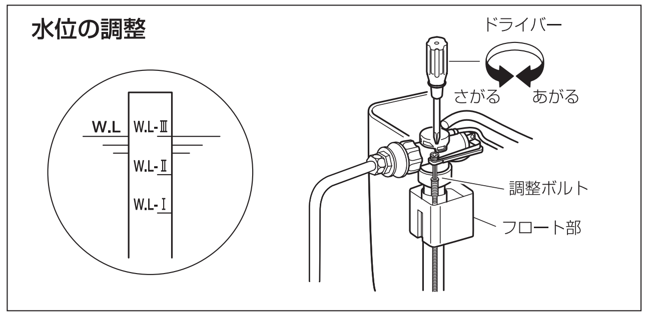
●止水栓の開きを調整したあと、ロータンクに給水した時に、水位がオーバーフロー管に表示されたW.Lとずれている場合は次の要領で調整してください。

※工場出荷時はⅢのラインに合わせています。

※W.L表示ラインはオーバーフロー管の3ヶ所に止水位をセットできる構造になっています。

●インナータンクカバーの外し方は 8 -(2)を参照してください。

●水位がW.Lより上の場合、調整ボルトを左に、W.Lより下の場合、調整ボルトを右に回して調整します。



お願い

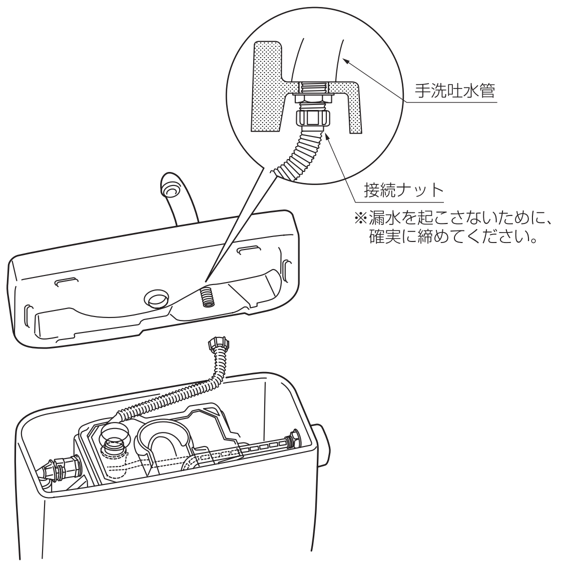
●接続ホースは、強く引っ張らないでください。

●調整後は元の状態に戻してください。

9 タンク蓋の取付け

陶器タンクの場合

●接続ナットを手洗吐水管に接続し、蓋をのせます。



樹脂タンクの場合

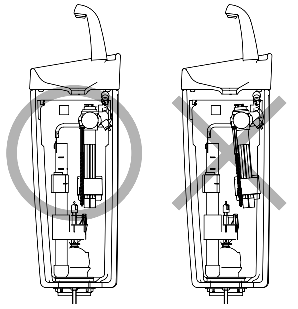
ボールタップと手洗接続ホースを接続します。

(1) 黒ゴムエルボの内溝と接続ホースの山が、かみ合うまで差し込む 下図注参照

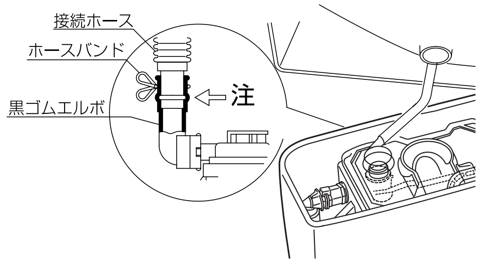
(2) 黒ゴムエルボの差し込み部分をホースバンドで止める。

※漏水防止のため必ずホースバンドで止めてください。

注意



ボールタップが傾いた場合は垂直に直してください。



お願い

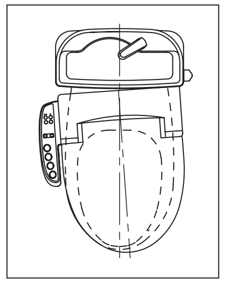
●11 確認と点検で、水漏れ確認を行ってください。

10 便座の取付け

●便座を取付ける場合は、それぞれの施工説明書に従って取付けしてください。

●便座が横にずれた状態で取付けないでください。

※温水洗浄便座の場合、着座スイッチが利きにくくなることがあります。



11 確認と点検

●洗浄ハンドルを操作して数回洗浄し、各部接続に漏水が無いことを確認してください。

●フロート弁の開閉、ボールタップの作動、洗浄ハンドルの戻り具合等、ロータンク金具に不具合が無いことを確認してください。

●便器鉢内に長さ約760mmのトイレットペーパーを丸めたものを7個入れ、1回の洗浄ですべて排出することを確認してください。

12 ワンポイント

●水の出が悪い場合ストレーナーを掃除してください。
(7参照)

お願い

●止水栓を動かした場合は、必ず流水量の調整をしてください。

ジャニス工業株式会社

本社 〒479-8577 愛知県常滑市唐崎町2丁目88番地 ☎〈0569〉35-3151